

保育園と高齢者が共に助け合える町
～“ありがとう”と“うれしい”
で笑顔をもっと増やそう～



戸高 来夢

【現状】

～職場体験から～

- 一人一人の業務負担が多く、大変そうだと感じた。

～実際に働いている母から～

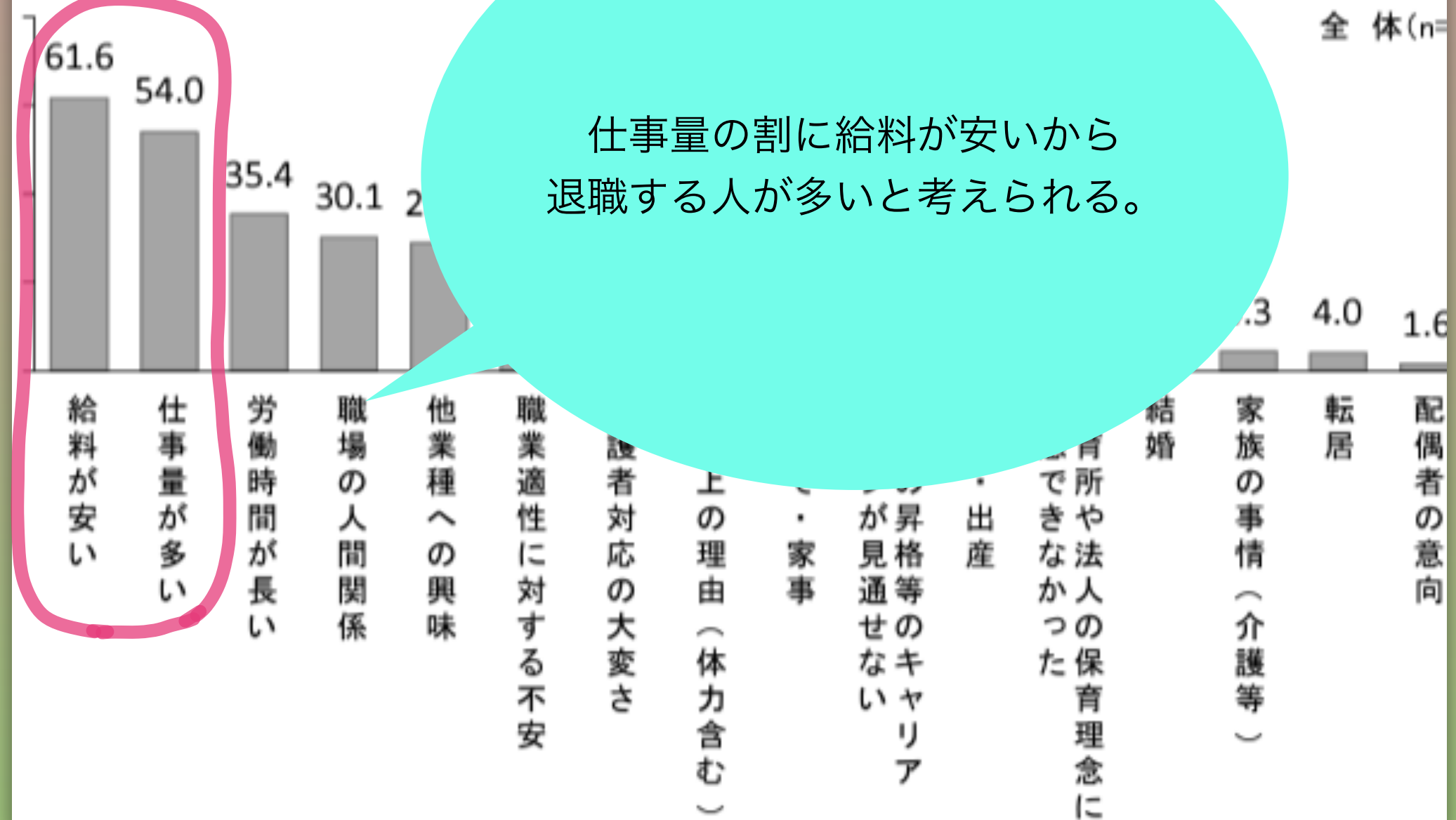
- ・ 「人手が足りないから大変」
「休み時間も掃除をしたり
連絡帳を書いたり作り物を
したりしている」
と言っていた。



～グラフから(1)～

2022年度東京都保育士実態調査結果より

退職意向の理由(複数回答)

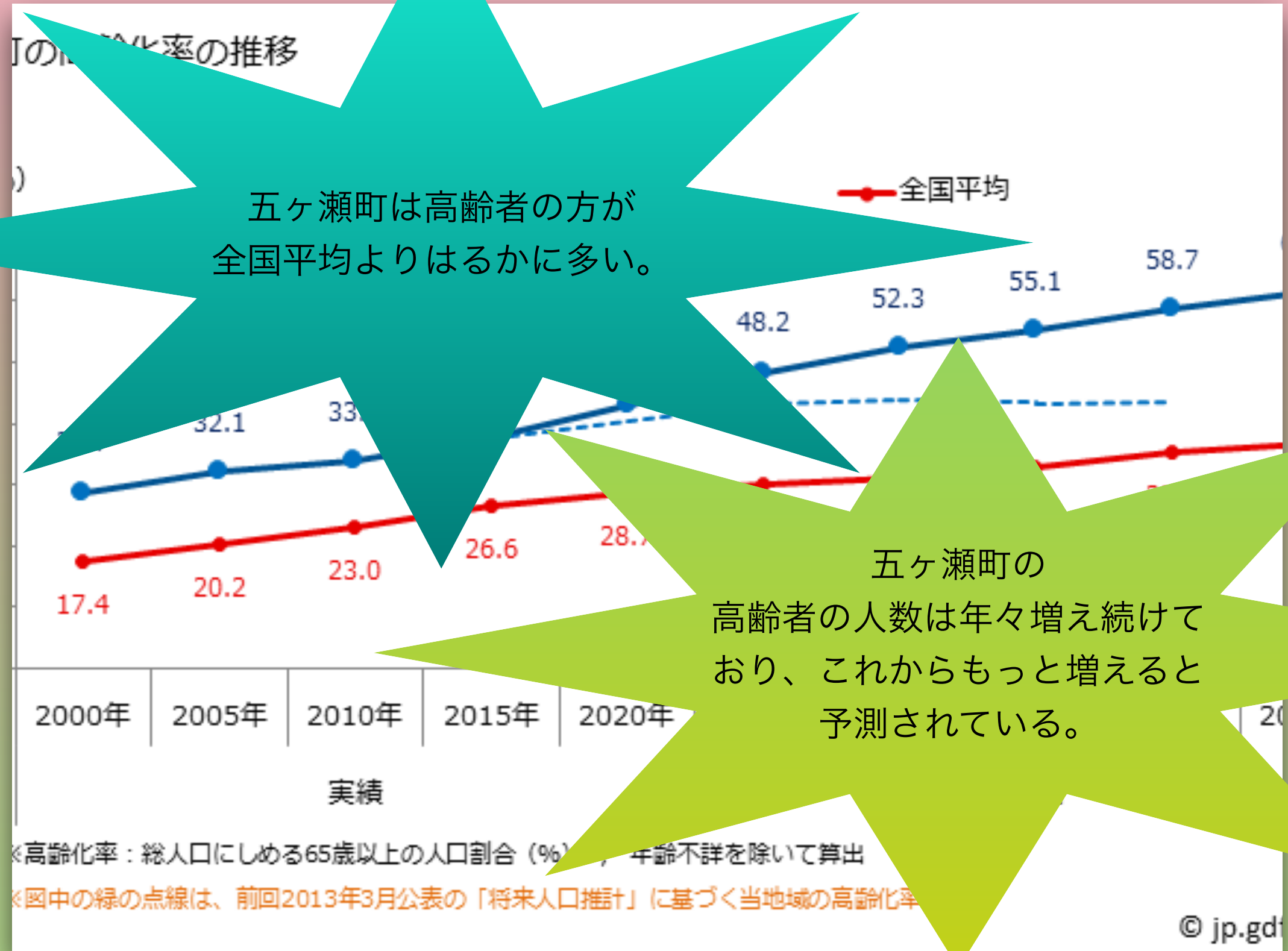


つまり、、、

仕事量を少しでも減らして
あげれば良いのではないか？

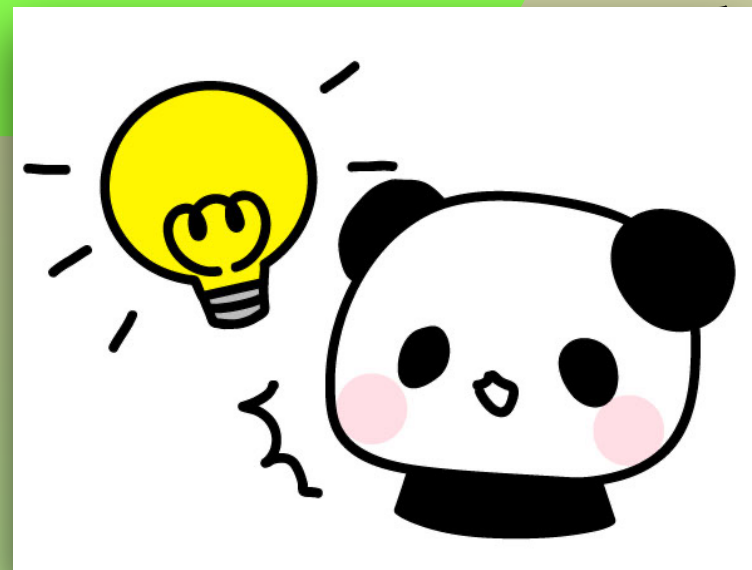
～グラフから(2)～

五ヶ瀬町は高齢者の方が
全国平均よりはるかに多い。



～現状のまとめ～

1. 保育高齢者の方にも五ヶ瀬町を**負担**が多い
より良くするために、手
 2. 五ヶ瀬町に伝えてもらうことが大事！、
- これから



働く高齢者を増やす！

高齢者の生きがい
づくりも大切！

【仮説】

高齢者と保育園が協力して出来る取り組みをすれば、共に助け合える良い町になるだろう。

提言①

シルバー人材の活用

提言②

サロンと保育所のコラボ

【提案の効果】

●保育士さんじゃなくてもできる（保育士さんがやらなくても良い）仕事が増えてもらうことで、

保育士さん

高齢者の方も誰か

保育士さんにとっても高齢者の方にとっても
WinWinの関係！

→やりがい・生活

もらえる。

●高齢者の方がなれる

なれる場がで

きる。

提言①

シルバー人材の活用

シルバー人材とは

- ・ 定年退職した高齢者の中で、
就労可能な人材のこと。

【シルバー人材活用の利点】

- ・ 労働力が確保できる。
- ・ 経験、知識が豊富な人材を即戦力で採用できる。
- ・ 組織が活性化する。
- ・ 助成金などの優遇が受けられる。

シルバー人材活用成功例

学校法人竹内学園認定子供園

第二新座幼稚園

- ・ 園児の見守りを中心とした保育補助の仕事。
→ 園の掃除や机の消毒をしたり折り紙や
ブロックで園児と遊んだりしている。



(職員の声)



- ・積極的に動いてくれるから、とても助かっている。
- ・子供達にとっては、おばあちゃんのような存在であり、子育ての経験もあるから安心して預けられると保護者にも評判。



現在五ヶ瀬町では、、、

- ・ 25
り
活

シルバー保育士を募集して、
事例のような形で活用していけたら良い！

具体的な活用方法

～休み時間の仕事の場合～

- ・ 掃除は保育士さんじゃなくても良い。
→シルバー人材を活用
- ・ 作り物は切ったり貼ったりの簡単な作業だったら出来る。
→シルバー人材を活用

保育士さんの休み時間の仕事はだいぶ軽減する！

【シルバー人材の問題点】

- ・ 体力、体調面で不安がある。
- ・ モチベーションや人柄が多様であり、どんな人が来るのかは分からない。

- 定入を
保育士さんがシルバー人材さんの健康チェックを
するとまた負担になってしまう！

健康チェック表を作り、シルバー
人材さん自ら健康チェックをしてもらう。

～アイデア②～

保育士さんにアンケートをとる。



アンケートを取ることで、、

- ・ どの程度の効果があったのかを把握することができる。
- ・ 取り組みに対する改善のヒントが得られる。

★五ヶ瀬町の保育所もシルバー
人材を活用して、保育士さんの
業務負担を減らしてあげよう！

提言②

サロンと保育所のコラボ

具体的に・・・

病院前のふれあい施設を
利用した交流教室

【交流教室の利点】

子供：幅広い知識が得られる。

お年寄りを優しくいたわる思いやりの
気持ちが育まれる。

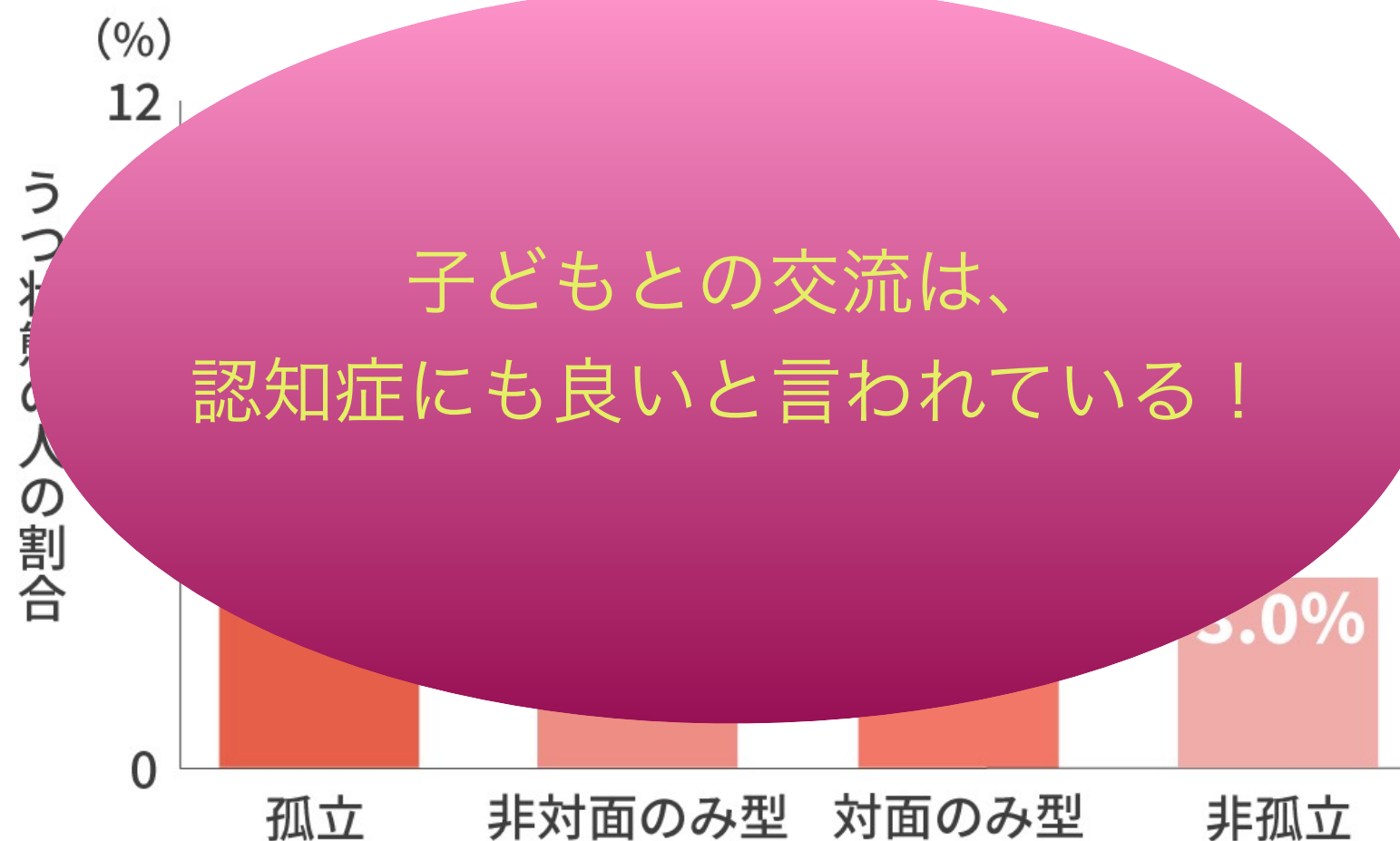


子どもとの交流に感心がある理由 (50 歳～79 歳が回答)



シニア・シルバー層の世代間交流の実態と意識より

非対面でも交流していると 「うつ状態」になる可能性が低い





健康長寿ネットより

交流教室の事例

はまゆう保育所

鹿児島県

- ・園児のお歌やお遊戯、作品制作等を通してのふれあいをしている。



ひまわり保育園

徳島県徳島市



～私の考える交流教室～

- けん玉やおじゃみ、おはじきなど園児が普段やらないことを高齢者の方に教えてもらいながら遊ぶ。
- 手遊びをして歌いながら遊ぶ。
- 七夕などの年間行事の時は高齢者の方と一緒に短冊にお願い事を書いたり作り物をしたりする。

～お知らせの仕方～

- ・ 各地域の全サロンの人、園児の保護者などにプリントを配布して日時、内容などをお知らせする。同時に、サロンの希望者は「希望する」に丸をつけて、参加人数を把握する。

【交流教室の当日 1 日の流れ】

- ・ 保育園生に病院前のふれあい施設まで来てもらう。
（朝に現地集合）
- ・ 交流活動。
- ・ 現地解散。

【交流教室の問題点】

- お知らせから計画・実施まで保育士さんがするのは大変すぎる。
- 年が小さい子は怪我をさせる可能性がある。

～アイデア①～

対象者を年長さんにする。

(5～6才児)

～アイデア②～

上手に役割分担をする。



具体的に、、、

- ・ 交流教室に必要なもの
→シルバー人材さんに手伝ってもらう。基本は、保育園にあるもので対応する。
- ・ お知らせのためのプリント作成とサロンの方へのお知らせ
→役場の福祉課、サロンなどの高齢者のふれあい教室の運営をしているNPO法人の人と協力して行う。

★交流教室でみんなが笑顔になれる、元気になれる場所を作ろう！

正反対の提言①と提言②を
同時にするのは難しい😞

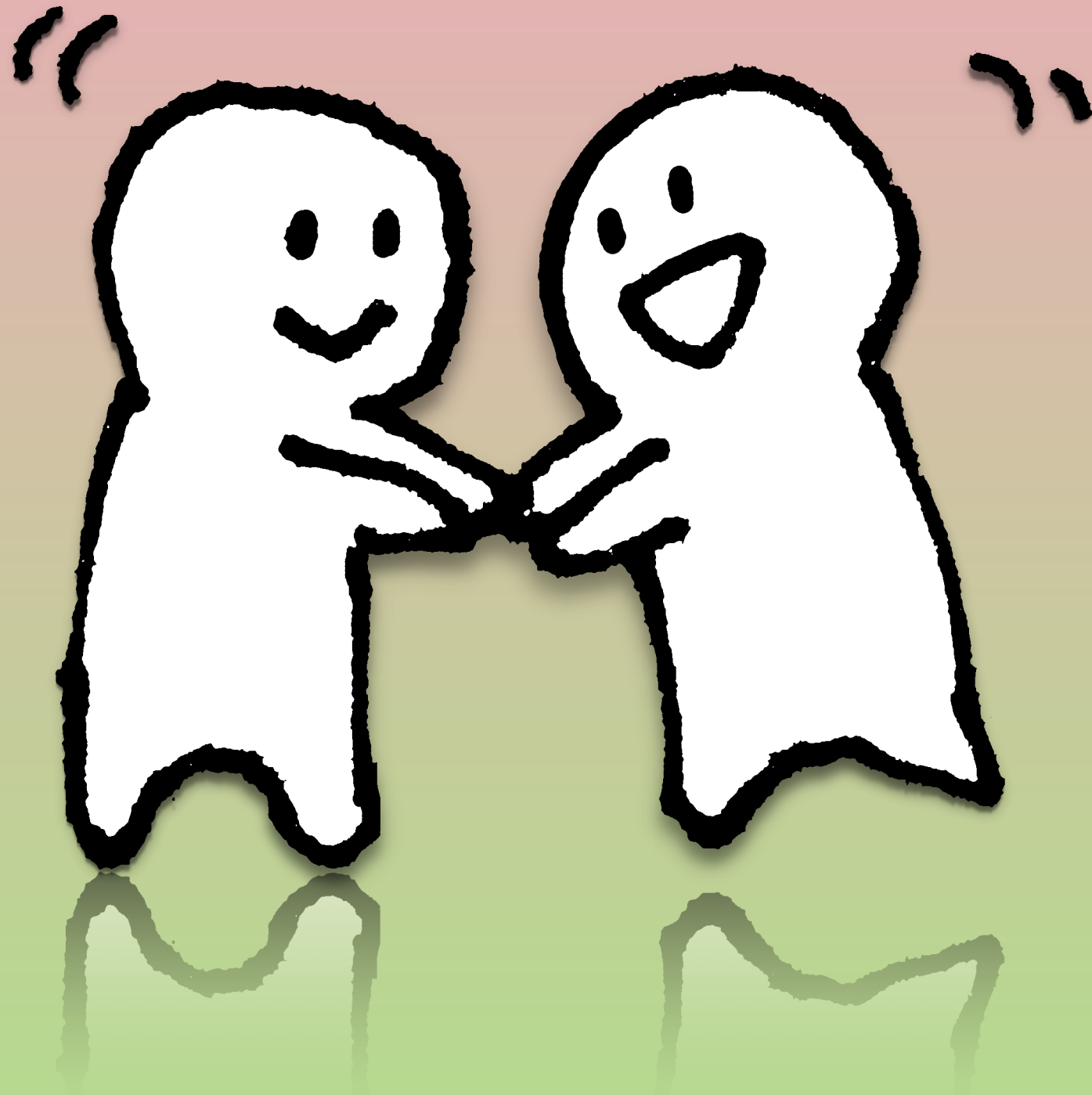


優先順位を決めよう！

1. 保育士さんの負担を減らす。
（シルバー人材）
→十分に豊富な働く人材を
GETする。
2. 高齢者のための交流教室。

まとめ

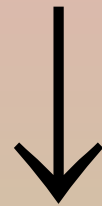
- ・ シルバー人材を活用
→ 保育士さんの業務負担を減らせる。
- ・ 交流教室
→ 高齢者の方が笑顔になれる、元気になれる場ができる。



保育園と高齢者が共に
助け合える町になる！

取組ます町の町に込めて！

働く高齢者を増やす



SDGsの項目11と
つながる！

ご静聴ありがとうございました。

